

令和5年度栗東市保健対策協議会

開催日時：令和6年3月25日（月曜日）13時30分から15時30分

開催場所：栗東市総合福祉保健センター 研修室

<出席者>

会長 樋上 雅一 草津栗東医師会
委員 倉田 充子 学識経験者
三浦 久美子 学識経験者
川上 寿一（代）草津保健所
山本 克己 学校保健安全部会
堀池 兵二 老人クラブ連合会
小竹 須美子 健康推進員連絡協議会
北野 満雄 自治連合会
中野 ますみ 公募委員

事務局 健康福祉部 健康増進課

欠席者 副会長 高森 泰彦 草津栗東守山野洲歯科医師会

<議事録>

- 1 開会
- 2 市民憲章唱和
- 3 あいさつ
健康福祉部 部長あいさつ
- 4 委嘱状交付
- 5 委員および事務局職員の紹介
次第名簿のとおり
会長・副会長の選出
委員互選により
会長 樋上委員
副会長 高森委員
出席状況説明
本日の会議成立
情報公開について
本日議事について公開
資料確認
- 6 協議事項
(1) 令和5年度栗東市保健衛生事業の概要について
資料1 事務局から説明

資料2 1ページから23ページおよび参考資料1まで事務局から説明

【質疑応答】

委員：資料2の5ページ、妊産婦健康診査受診の状況について、18,000件と多いのは1人あたりの回数が多いということか、どういうことか。

事務局：1人につき最大14回の公費助成があるため。

委員：新型コロナワクチン予防接種の接種料については金額が決まっているのか。

事務局：まだ国から示されていないため、示され決まり次第皆さんにもお知らせさせていただく。

委員：18ページ後期高齢者の健診の受診率が低い。

事務局：受診実績の傾向として、例年10月頃をピークに増える傾向にある。例年、期間の前半は数が少なく、今年度の前半の実績値についても例年と同じ傾向であるため最終的には同様の実績値に落ち着く見込みである。

委員：1歳半健診の際にフッ素塗布をされているということだが、フッ素の効果や次年度の2歳半、3歳半など対象についてはどの様にお考えか。小学校、中学校と広げていくのか。

事務局：現在、1歳半でフッ素塗布を実施し、半年に1回受けると効果があると言われている。来年度は2歳半で実施予定。1歳半はよだれが多く、歯の本数も少ないため、後はかかりつけ医で実施してもらい、低濃度の歯磨剤（歯磨き粉）を使ってホームケアとして実施していただくよう周知していく。

委員：今のフッ素塗布は塗っているのか。

事務局：歯科医に塗ってもらっている。

(2) 令和6年度栗東市保健衛生事業計画（案）について

資料3-1および3-2まで事務局より説明

令和5年度の新規事業のみ説明。

【質疑応答】

委員：带状疱疹予防接種の費用助成をされるということだが、本来なら接種費用はどのくらいかかるものなのか。

(会長)：生ワクチンであると8,000円、不活化ワクチンであると2万円程。不活化は2回接種となる。

委員：带状疱疹予防接種（不活化ワクチン）の助成については、例えば令和6年3月に1回目を自費で接種していて、4月に2回目を接種した場合、4月の2回目は助成対象となるのか。

事務局：対象となる。

委員：資料3-1の6(7) 予防接種健康被害救済給付事業については、新規事業と印がされているが、新規ではないのではいか。

事務局：ご指摘の通りである。

委員：健康被害は何のワクチンが原因か、などはわかるものなのか。

事務局：今のところ、申請は新型コロナワクチンのみである。

委員：健康被害の内容は、重症の報告や亡くなった方などはあるのか。

事務局：健康被害の申請の内容は様々ある。現在9件申請があり、詳細は個人情報のため差し控えさせていただくが、アナフィラキシーショックや心筋炎等の申請を受けている。

7. 閉会